

ジャパンプラズ

NEWS LETTER

Japan Club : 1759 Sutter Street #203, San Francisco, CA 94115 • Tel: 415-931-9424 • www.jpclub.org • jc-sf@sbcglobal.net

11月度理事会議事録

米国赤十字社による「一般災害対策講習会」開催決定

「災害時緊急グッズ」の会員への無料配布(引換券同封) 全会員リストの配布(同封)

ジャパンプラズ 11月度理事会は11月4日(水曜)6:30より、日米会館会議室において11名の理事が出席して行なわれました。

1) 米国赤十字社に於ける「講習会」

先の理事会で決まった緊急連絡網の地域担当者及びその補助者を対象とした赤十字社による「講習会」は「指導員養成」コースと、内容がかなり専門的になるためこれをもう少し一般的なテーマにした上で全会員が参加できるような講演会にする事しました。

2) 米国赤十字社に於ける「講演会」

上記第1項の結果、「講演会」を12月5日午後1時より(約1時間30分の予定)ジャパントウン・ユニオンバンク社交室で開催する事に決定。内容は「地震と共に暮らす」のタイトルで地震に対する備えについて米国赤十字社の担当者が説明する。尚、この会場で下記「防災グッズ」を参加ジャパンプラズ会員に配布する。

3) 全会員名簿の配布について

今月号のニュースレターに先の決定に基づいて全会員の一覧リストが同封されております、相互の連絡、親睦に役立ててください。尚、これらの個人情報の管理には十分な配慮をお願いします、又内容の間違いや変更は事務局迄お知らせください。

4) 全会員名簿の配布に関連した議題

全会員名簿の配布とその利用条件等について、会員同志の連絡や相互扶助の一環としての利用以外にもう少し拡大した利用が考えられないか(例えば、ビジネスをしている会員がその紹介に使えるか?)などの提案がありました、これは非常にデリケートな問題で時間をかけて慎重に議論する必要があります。会員の皆様のご意見もお知らせください。

5) 餅つき新年会

来年1月31日(日)北加日本文化コミュニティーセンターでの開催が決まっている餅つき新年会についてエンターテイナーにバイエリアで良く知られているピアニストの長部正太さんが決まりました。

さらにお手伝いして下さる方の負担を出来るだけ軽く、分散し全員が新年会を一緒に楽しめるようにする為に各担当を決め準備に入りました。

6) その他

1. 10月23日(金)サンフランシスコ領事館会議室に於いて開かれた第11回「海外安全対策連絡協議会」には事務局から古田紘一事務局長が出席、内容(要約)は裏面にあります。

2. PN-3 グループの今井利和さんからタイのバンコックにある日本人会との交流、連携等について提案がありました。今回タイを訪れる今井さんの現地調査の結果その報告を受けて検討する事になりました。

次回理事会は、2009年12月2日(水)に日米会地階会議室に於いて6:30より開催されます。11月1日現在会員数は新会員1名が増え65名です。

講演会 (無料)

日時: 12月5日(土曜日) 午後1時より

場所: ジャパントウンユニオンバンク社交室

内容: 「地震と共に暮らす」(ビデオ説明及び配布資料もあります)

- 赤十字社担当者の自己紹介
- 日本とアメリカの赤十字の役割の違いについて
- 地震対策ステップ1: 計画を立てる
- 地震対策ステップ2: 防災グッズを用意する
- 地震対策ステップ3: 事前に知識を身につける
- まとめ

下記関連記事をお読みください

BIG ニュース

お知らせ
下記「防災グッズ」を12月5日の
講演会々場でジャパンプラズ会員に
無料配布します
(同封引き換えカードをご持参ください)

地震など自然災害に備えて米国赤十字社が扱っている「防災グッズ」(個人用39ドル、夫婦用60ドル)をジャパンプラズで一括購入し、全会員に無料配布することを11月4日の理事会で決定しました。会員同志の相互扶助を目的に設立され、活動を続けて来たジャパンプラズでは、いざと云う時に備えて一定の金額を備蓄してきましたが幸いにもこの15年間に大きな災害も無く、その活用方法を模索していましたが、米国赤十字社との交流の中で家庭用の「防災グッズ」に着目、それぞれの家庭で「備えあれば憂い無し」の諺の通り、災害時にまずは最低限の利用が出来るものを会として一括購入、全会員に無料で配布することにしました。尚、今回の「防災グッズ」は上記の日程で米国赤十字社から講師を招いて催すセミナーでこのグッズに含まれる内容とその使い方などを説明の上、当日会場でお渡ししますのでぜひともご参加ください。

個人会員の方に

- (1) 33-Piece first aid kit packed in hard plastic carrying case
- (1) 2,400 calorie ER Food Bar*
- (3) Water boxes with straws*
- (1) Water Storage Bag—2 Gallon
- (1) Emergency blanket
- (1) Poncho with hood
- (2) Hand warmers
- (1) 12-Hour lightstick
- (1) Flashlight with batteries
- (1) Whistle with lanyard
- (1) Tissue pack
- (1) Sanitary waste bag
- (1) Sanitary napkin



*U.S.C.G. Approved with 5-year shelf life

夫婦会員の方に

- 1) 33-Piece first aid kit packed in hard plastic
- (2) 2,400 calorie ER Food Bars*
- (6) Water boxes with straws*
- (1) Water storage bag—2 gal.
- (2) Emergency blankets
- (2) Ponchos with hoods
- (2) Hand warmers
- (1) 12-Hour lightstick
- (1) Flashlight with batteries
- (1) Whistle with lanyard
- (2) Tissue packs
- (2) Sanitary waste bags
- (2) Sanitary napkins



*U.S.C.G. Approved with 5-year shelf life

新会員紹介

クラハン雅美さん (Masami Clahan)

「大槻悦子さんに誘われてピクニックに参加させていただき大勢の方達とお話しできて、楽しい一日を過ごす事が出来ました、今迄あまり日本人や日系の人達と交流する機会が無かっただけにより鮮明に今でもあの日を想いだし、それがジャパンプラブに入ろうとの思いになりました」と入会の動機を話された雅美さん。

1986年留学の為に来米、マリンカウンティで学ぶうちご主人と知り合い2年後の1988年結婚されたとの事、現在は建築関係のお仕事をし、同時にブラジリアン・マーシャルアートの道場主でもあるご主人と16才になる娘さんと3人でアルバーニーにお住まいです。

出身は東京都下西東京市、「会員の皆様と仲良くなれるようなイベントを楽しみにしています」とジャパンプラブへ期待を寄せられています。

なお、緊急連絡網ではEB-2 正田和代さんのグループになります

同好会で親睦と楽しみを広げましょう

「日頃、こういう事をしたいなあ、でも一人じゃつまらない」と思っておられる会員の皆様、せっかくジャパンプラブ65名の仲間が居るのです、やってみたいと思われる事や自分の得意な事、挑戦してみたい事等事務局迄お知らせください、喜んで仲間探しのお手伝いをします。

例えば:

- | | | |
|--------|---------------|-------|
| ・ハイキング | ・食べ歩き | ・カラオケ |
| ・庭いじり | ・絵画(観たり、描いたり) | |
| ・写真 | ・スキー | ・旅行 |
| ・テニス | ・クッキング | ・ダンス |

その他にも色々あると思います、どんな事でも一度話してみませんか? きっと思わぬ仲間が出来ますよ。

連絡は: ジャパンプラブ事務局又は k.furuta@sbcglobal.net 迄

CDC (米国疾病予防管理センター) の勧める予防対策

- ・家族全員で頻りに石鹸と流水による手洗い、或はアルコール手指消毒薬による消毒をする。
- ・子供達にクシャミや咳をする時はティッシュで口と鼻を覆うように教える事、ティッシュがなければ腕の内側でも良い。(咳エチケットとして一般的に云われている事)
- ・発熱や咽頭痛、咳、寒気、倦怠感、鼻水等の症状が出た人は自宅にとどまり外出を控える。
- ・症状が消えてからも最低24時間は自宅に居る事、症状が悪化したら、子供達は途中でどんなに気分が良くなっても自宅療養を7日間延長する。(体内のウイルスの量は感染から2日でピークを迎え5~7日でほぼなくなる為)
- ・子供達は具合が悪い時には人ごみに行ったり、ショッピングモールに行ったりしてはならない。そして家族の誰かが感染し体調を崩したら学齢期児童は5日間自宅にとどまるべきである。

第11回 海外安全対策連絡協議会 報告(要約)

2009年10月23日

10月23日、サンフランシスコ領事館会議室で開かれた海外安全対策連絡協議会(海安協)の第11回会合は長嶺安政総領事の開会の挨拶の後、東野領事、在米大使館・美甘(みかも)医務官(電話にて会合に参加)が「新型インフルエンザ」についての現状説明、予防注意事項、予防ワクチン情報等が説明されました。

A. サンフランシスコ領事館管轄内に於けるワクチン情報(東野領事)

米国内で新型インフルエンザ(H1N1)のワクチンの配布が10月上旬から始まりました。しかしながらその絶対量がまだ不足しているため接種優先順位があり

1. 妊婦
2. 生後6ヶ月未満の乳児と接する者
3. 医療サービス従事者等
4. 子供・若者(生後6ヶ月~24歳)
5. 25歳~64歳で持病・免疫疾患の保持者

の人々が優先接種の対象となっていますが11月上旬にはワクチンの供給量も増え、希望する人の大多数が接種を受ける事が出来るようになります。

ワクチンの接種回数と料金について、成人及び10歳~17歳の子供は1回の接種で免疫効果が得られますが、6ヶ月以上10歳未満の子供は(4週間の間を置いて)2回の接種が必要です。新型インフルエンザのワクチンの臨床試験では健康な成人の場合、1回の接種で通常8~10日後に十分な抗体が出来ると云う結果が出ています。

ワクチン自体の料金は無料(連邦政府負担)ですが、接種を行なう医療機関等に対して手数料の支払いが必要になります。

(注)ワクチンの接種が受けられる時期、場所、料金等の情報の詳細は、各人が利用する医療機関、市や郡の公衆衛生局に問い合わせてください。

(注)ワクチンには、鼻腔スプレー型ワクチンと注射型ワクチンの2種類があり、スプレー型ワクチンは、妊婦や慢性疾患のある人を除く2~49歳の健康な人にしか使用できません。現在供給されているワクチンの半分以上は注射型だそうです。

B. 新型インフルエンザ H1N1 対策 (美甘医務官一電話にて参加)

一般の風邪や季節性インフルエンザの症状との違いや、感染拡大の状況、予防対策など広範囲に渡って説明がありました。新型インフルエンザの特徴の一つとして、季節性インフルエンザの症状に加え、嘔気、嘔吐、下痢などの消化器症状が出る事がある、また季節性インフルエンザが老人の死亡率が高いのに比べ新型インフルエンザではむしろ若年層に重症化するケースが多い事も特徴です、同時に感染者も高齢者に少なく、若い年代に多い。過去の例からも流行の第2波を特に注意する必要があるそうです、基本的な対策、予防として先月号のニュースレターにも注意喚起しましたが外出から戻った時の手洗い、うがいは必ず実行してください。

手洗い: 石鹸を使って少なくとも15秒、出来れば30秒指と指の間も丁寧に洗ってください。

うがい: うがい薬、水等でうがいをする、さらには歯磨き、舌磨き等を組み合わせた口腔ケアで口の中を清潔にする事で季節性インフルエンザの発症率を10分の1に軽減できるそうです。

C. サンフランシスコ日本語補習校の対策説明 -省略(植木進策校長)

D. 「気持ち会老人ホーム」に於ける現状説明 -省略(春海三悟氏)

E. 当地の治安状況について説明 -省略(山口警備対策官)

以上の内容でした、さらに詳しくお知りになりたい点或は、質問、不安に思っておられる事がありましたら事務局迄お問い合わせください

記:事務局 古田統一